

輸入植物検疫規程の一部改正(輸入貨物に使用される木材こん包材に対する検疫措置の導入)について

平成18年10月6日
農 林 水 産 省

木材こん包材については、近年、植物に有害な動植物の侵入経路となることが指摘され、国際植物防疫条約(昭和27年条約第15号)に基づく「植物検疫措置に関する国際基準第15」(国際貿易における木材こん包材の規制に関するガイドライン)が採択されました。

これまでに、農林水産省では、木材こん包材に関する病害虫危険度解析を実施し、木材こん包材を介して日本未発生の検疫有害動植物(カミキリ類、キクイムシ類など)が日本に侵入し、農林業・森林等に経済的被害を生じるおそれがあり、これを防止するため輸入検疫措置を講じる必要があると判断しました。

このため、公聴会、パブリック・コメント等所要の経路を経て、本年10月6日付けで輸入植物検疫規程(昭和25年農林省告示第206号)を一部改正し、平成19年4月1日付けで、木材こん包材に対して輸入検疫措置を開始することとしました。

平成 18 年 10 月
農 林 水 産 省
消費・安全局植物防疫課

輸入貨物の木材こん包材に対する植物検疫措置について

1 背景

- (1) 国際貿易貨物に使用される木材こん包材は、植物に有害な動植物の侵入経路となることが国際的に懸念されたことから、国際植物防疫条約に基づく「植物検疫措置に関する国際基準第15」(国際貿易における木材こん包材の規制に関するガイドライン)(別紙1)が採択された。
- (2) 我が国においても輸入貨物の木材こん包材に関する病虫害危険度解析を開始し、輸入貨物の木材こん包材を経路として検疫有害動植物が日本に侵入するリスクがあるとの結論に達した。

2 植物検疫措置の概要

- (1) 病虫害危険度解析の結果、輸入貨物の木材こん包材(別紙2)を経路として検疫有害動植物が日本に侵入するリスクがあると判断されたことから、国際基準に沿った植物検疫措置を導入することとした。

本検疫措置は輸出国における消毒処理を前提とし、国際基準に従った消毒処理がなされ、処理済み表示が付された木材こん包材は植物検疫の対象としない。

- (2) なお、処理済み表示が付されていない木材こん包材については、輸入検査を行うこととする。

国際貿易における木材こん包材の規制に関するガイドライン

- 国際植物防疫条約に基づく「植物検疫措置に関する国際基準第15」 -

木材こん包材に病害虫が付着して、世界各国にまん延し、経済的被害を生じる恐れ



世界各国で一定の植物検疫措置を講ずることが必要と認識

国際基準の認定措置 → 輸出国で実施

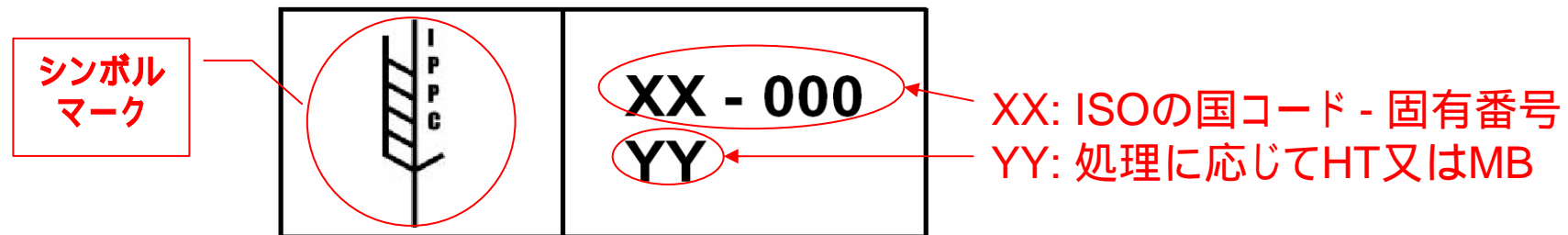
処理

・ 熱処理 (HT): 材中心温度 56℃、30分

または、

・ 臭化メチルくん蒸 (MB): 温度に応じて48-64g/m³、24時間

処理済の木材こん包材には、以下のマークを表示



* 木材こん包材とは、国際基準上、「物品の保持、保護又は運搬に用いる木材又は木製品 (パレット、ダンネージなど)」

国際基準の対象となる木材こん包材



パレット



木箱



木枠



ドラム



堰板



とめ木



ダンネージ



国際基準の対象とならない木材こん包材



合板、パーティクルボード、オリエンテッドストランドボード、ベニヤなど加工・処理された材で作られたこん包材

(写真は合板)



その他: おがくず、削りくず、木毛、チップなど
(写真左: チップ、写真右: 木毛)

輸入植物検疫規程（昭和25年農林省告示第206号）の一部を改正する件（概要）
農林水産省告示第1352号（平成18年10月6日付け）

植物防疫法第11条第1項の規定に基づき、輸入植物検疫規程の一部を次のように改正し、平成19年4月1日から施行する。

（検疫の対象とならない植物）

第6条 次の各号に掲げる物は、法第2条第1項の植物に該当しない。

一 〔略〕

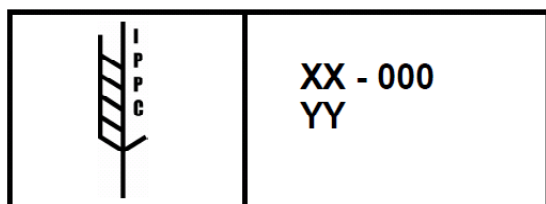
二 木材こん包材（加工又は処理が行われていない木材を用いて製造された、パレット、ダンネージ、木枠、こん包ブロック、ドラム、木箱、積載板、パレットカラー、スキッドその他のこん包材にあつては、生産国において別表第6に掲げる方法による消毒が行われ、かつ、別記様式による表示が付されているものに限る。）

三～十 〔略〕

別表第6 木材こん包材の生産国における消毒方法の基準〔第6条〕

方 法	実施の基準							摘 要
	薬量（単位__グラム 毎立方メートル）	処理時間	温度	最小濃度（単位__グラム 毎立方メートル）				
				2時 間後	4時 間後	12時 間後	24時 間後	
1 熱処理		30分以上	56度以上					温度は、木材こん包材の中心温度とすること。
2 臭化メチルくん蒸	64 56 48	24時間 " "	10度以上 16度以上 21度以上	48 42 36	42 36 31	36 32 28	32 28 24	濃度の測定は、少なくとも2、4、24時間後に実施すること。

別記様式 木材こん包材の消毒済み表示〔第6条〕



備考

- 1 本表示は、少なくとも、シンボルマーク、木材こん包材の生産国を示す2文字のISO国名コード（XX）及び木材こん包材の生産者の登録番号（000）並びに別表第6に掲げる消毒方法を表すもの（YY。熱処理にあつてはHTとし、臭化メチルくん蒸にあつてはMBとする。）を含むものとする。
- 2 本表示は、以下のとおりとすること。
 - （1）明瞭に判読できること。
 - （2）恒久的であり、かつ、取り外せない方法で付されていること。
 - （3）目に見える位置に配置され、可能な限り木材こん包材の1面と反対側の1面の少なくとも2面に付されていること。
 - （4）赤色及びオレンジ色は、使用を避けること。

MAFF Notification No.1352, October 6, 2006 *

For amendment of Import Plant Quarantine Regulation (MAF Notification No.206, 1950)

Based on prescript of Paragraph 1 of Article 6 of Plant Protection Law (Law No.151, 1950) **, the Import Plant Quarantine Regulation (MAF Notification No.206, 1950) is amended and the amendment will be put into force April 1, 2007.

October 6, 2006

Toshikatsu Mastuoka

Minister of Agriculture, Forestry and Fisheries

After Article 6, Paragraph 1 of the Import Plant Quarantine Regulation, Paragraph 2 below is inserted. According to this amendment, Paragraphs (2) to (9) are renumbered as (3) to (10).

(Plant not subject to quarantine)

Article 6

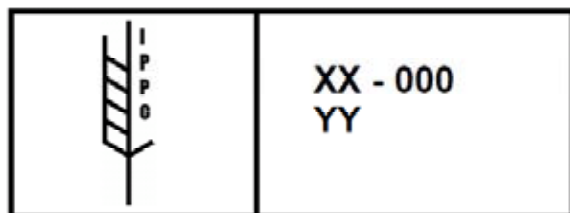
The article listed in each of the following items shall not fall under the plants specified in Article 2, Paragraph 1 of the Law ***;

- (1) [Omitted]
- (2) Wood packaging material (If wood packaging material, including pallets, dunnage, crating, packing blocks, drums, cases, load boards, pallet collars and skids, is made from raw wood without processing or treatment, only the wood packaging material treated under the standard shown in Table 6 and marked according to the remarks shown in Form 1 in producing countries can be classified as plant not subject to quarantine in this article.) ****
- (3) ~ (10) [Omitted]

Table 6. Treatment standards of wood packaging material in the producing country.

Measure	Standards							Remark
	Dosage (g/m3)	Treatment period	Temperature	Minimum concentration (g/m3)				
				2hrs later	4hrs later	12hrs later	24hrs later	
1. Heat treatment	-	30minutes or more	56C or more	-	-	-	-	Temperature is core temperature of wood packaging material
2. Methyl bromide fumigation	64	24hours	10C or more	48	42	36	32	Monitoring of concentrations should be carried out at a minimum at 2, 4 and 24hrs.
	56	ditto	16C or more	42	36	32	28	
	48	ditto	21C or more	36	31	28	24	

Form 1. The mark on wood packaging material treated and certified.



Remark ;

1. The mark should at a minimum include the symbol, ISO two letter country code (XX) indicating producing country of wood packaging material, a unique number (000) assigned to the producer of the wood packaging material, and abbreviation (YY) indicating treatment prescribed in Table 6 (YY; HT for heat treatment or MB for methyl bromide fumigation).
 2. The mark should be ;
 - (1) legible
 - (2) permanent and not transferable
 - (3) placed in a visible location, preferably on at least two opposite sides of the wood packaging material,
 - (4) not red or orange.
-

Note;

* ; Original is in Japanese and MAFF has no responsibility on any issue caused by this text.

** ; Article 6 (Limitation on import)

1. Plants (excluding the plants not used for cultivation and designated by the Ministerial Ordinance as least liable to carry quarantine pests. Hereinafter the same in this and next paragraph) and the packing materials or containers thereof shall not be imported unless the same are accompanied by a phytosanitary certificate or a copy thereof issued by the government agency of exporting country certifying that the material has been inspected and found to be, or believed to be free of injurious animals and plants. However, this shall not apply to the plants and packing materials or containers thereof listed in the following items.

*** ; Article 2 (Definitions)

1. 'Plants' as used in this law shall mean any plant (including a part thereof, seed, fruit and processed goods such as straw mat, straw bale or other similar products) belonging to phanerogam, pteridophyte or bryophyte, exclusive of injurious plants specified in next paragraph.

****; In principle, wood packaging material which is neither treated nor certified is classified as 'Plant' defined in Paragraph 1 of Article 2 of the Law and it is a subject of regulation.

关于修订部分进口植物检疫规章（1950年农林省公告第206号）之事宜
农林水产省公告第1352号（2006年10月6日）

（非检疫对象的植物）

第6条 下列各款所列举之物，不属于法规第2条第1项的植物范畴。

一 [省略]


二 木质包装材料（由未经加工或处理的木材所制造的木托盘、货垫、木框、包装块、木制滚筒、木箱、装载板、托盘框、垫木及其他包装材料，仅限于在生产国按照另表第6所列举的方式进行消毒，并且有如附录格式标记的材料。）

三～十 [省略]

另表第6 木质包装材料生产国的消毒方式的标准[第6条]

方式	实施的标准							摘要
	剂量(g/m ³)	处理时间	温度	最小浓度(g/m ³)				
				2小时后	4小时后	12小时后	24小时后	
1 热处理		30分以上	56度以上					温度须按照木质包装材料的中心温度。
2 溴甲烷 熏蒸	64	24小时	10度以上	48	42	36	32	测量温度至少于2、4、24小时后实施。
	56	"	16度以上	42	36	32	28	
	48	"	21度以上	36	31	28	24	

附录格式 木质包装材料的消毒完毕标记[第6条]

	XX-000 YY
---	--------------

备考

本标记至少应包括标志符号、表示木质包装材料生产国的2个文字的ISO国家编码（XX）、木质包装材料生产者的登记号码（000）及另表第6所列举的消毒方式（YY。热处理为HT、溴甲烷熏蒸为MB）。

1 本标记须注意下列事项。

- (1) 容易辨认。
- (2) 须以永久性且无法拆卸的方式标示。
- (3) 须配置于能够看得到的地方，尽可能标示于木质包装材料的2个相对面。
- (4) 须避免使用红色及桔黄色。

注：原文为日文，农林水产省(MAFF)对本小册子引起的一切后果概不负责

輸入木材こん包材の日本における規制の開始に関する国際機関への情報提供について

以下について、英文で国際植物防疫ポータル及びWTO/SPS委員会事務局・加盟国への情報提供しましたのでお知らせします。

植物検疫措置に関する国際基準第15を平成19年4月から実施
日本政府からの情報提供

日本は、木材こん包材に関する病虫害危険度解析の結果に基づき、輸入植物検疫規程(昭和25年農林省告示第151号)の一部を改正しました。当該改正は、平成18年10月6日に公示され、平成19年4月1日から施行されます。

日本における規制を国際基準に調和させる観点から、日本の規則における木材こん包材の定義及び木材こん包材に対する検疫措置は、国際基準第15に規定されたものと同等なものとなっています。国際基準第15に従って処理され証明された木材こん包材は、輸入検疫措置の対象となりません。処理表示(国際基準第15の附属書II)のない木材こん包材は、輸入港において、植物防疫官により、規則の遵守状況について、検査を受けることとなります。検疫有害動植物が発見された場合には、規則の不遵守に該当するので、国内法に従い、荷主の選択により、殺虫処理、焼却又は返送されることとなります。

参考

輸入貨物の木材こん包材に関する病虫害危険度解析報告書について
<http://www.pps.go.jp/konpozai/import/pr/inwoodpra01.pdf>

国際植物防疫ポータルへの情報提供(英文)

<https://www.ippc.int/servlet/CDSServlet?status=ND1ucHBvanAmNj1lbiYzMz1uZXdzJjM3PWtvcw~~#relateds>

WTO/SPS委員会事務局及び加盟国への情報提供(英文)
(手続中)

Implementation of ISPM No.15 from April 2007

Communication from Japan

Based on the result of a pest risk analysis for wood packaging material, Japan amended its Import Plant Quarantine Regulation (MAF Notification No.206, 1950). This amendment was published on 6 October 2006 and will be put into force on 1 April 2007.

With a view to harmonizing our regulation to the international standard, definition of wood packaging material and measures for wood packaging material in Japanese regulation are equivalent to that provided in ISPM No.15. Wood packaging material treated and certified according to ISPM No.15 will not be subject to import quarantine procedures. Wood packaging material without the mark (Annex II, ISPM No.15) will be inspected at the ports of entry by plant quarantine officer for compliance with the rule. Detection of a quarantine pest constitutes a non-compliance, which is, according to Japanese domestic law, subject to disinfection, incineration or re-shipping by consignee's choice.

References;

Outline of regulation (in English); <http://www.pps.go.jp/english/woodpack/index.html>
PRA report (in Japanese); <http://www.pps.go.jp/konpozai/import/prainwoodpra01.pdf>
This adoption was also reported to IPPC through International Phytosanitary Portal (IPP); <https://www.ippc.int/servlet/CDSServlet?status=ND1ucHBvanAmNj1lbiYzMz1uZXdzJm3PWtvcw~~#relateds>

有关植物检疫措施的国际标准第 15 号自平成 19 年 4 月起实施
信息来源于日本政府

日本根据有关木质包装材料的病虫害危险度解析的结果，修订了部分进口植物检疫规章（昭和 25 年农林省公告第 151 号）。该修订章程于平成 18 年 10 月 6 日公布，平成 19 年 4 月 1 日起施行。

就使日本的规章符合国际标准的观点而言，日本的规章里有关木质包装材料的定义及对于木质包装材料的检疫措施，均与国际标准第 15 号所规定的内容等同。按照国际标准第 15 号进行处理、证明的木质包装材料，不属于进口检疫措施的对象范畴。对于没有处理标记（国际标准第 15 号的附件 II）的木质包装材料，在进口港，须按植物防疫官的指示，就有关遵守规章的情况，接受检查。如发现有检疫性有害动植物的情况，应属于违反规章的行为，则遵循国内法规，依照货主的选择，进行杀虫、焚烧或退还处理。

参考

有关进口货物木质包装材料的病虫害危险度解析报告书

<http://www.pps.go.jp/konpozai/import/pr/inwoodpra01.pdf>

向信息交换和国际植物检疫门户网站（IPP）提供信息（英文）

<https://www.ippc.int/servlet/CDSServlet?status=ND1ucHBvanAmNj11biYzMzluZXdzJjM3PWtvcw~~#relateds>

向 WTO/SPS 委员会办事处及加盟国提供信息（英文）

（手续中）